上尾市立大石南中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

人生の基礎を培い　夢を語り　向上心と勇気を育てる

出会い　ふれあい　学びあい

学校課題研究主題

『生徒の思考力、判断力、表現力等を伸ばす教育活動の工夫』～小規模校の特性を生かした個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～

学力・学習状況調査の結果

R8 全国学力・学習状況調査

・国語、数学、英語ともに平均正答率は全国平均を大きく下回る。
・国語は思考力・判断力・表現力等の「読むこと」を問う問題の正答率が全国平均正答率と比較して低い。
・数学は、図形に関する問題、また思考力・判断力・表現力等を問う問題の正答率が全国平均正答率と比較して低い。
・英語は、書くことに関する問題の正答率が全国平均正答率と比較して低い。

R8 埼玉県学力・学習状況調査

・学力レベルの平均は、伸びが見られた科目が多く、２年国語、３年英語では２レベル伸びている。しかし、３年数学は－１となった。
・学力を伸ばした生徒の割合は、２年生数学、１年生国語、数学で、埼玉県平均を上回っている。
・学習方略では作業方略の項目、非認知能力では自己効力感の項目の数値が埼玉県平均と比較して低い。

R7 上尾市立小・中学校学力調査

・２年生(現高校１年生)は、全科目とも目標値を上回り、基礎的な内容が身に付いている。今後は、既習事項を活用する力を伸ばすことが必要である。
・１年生(現３年生)は、全科目とも目標値を下回った。基礎的な学力を定着させるとともに、自ら学ぶ意欲の向上を図っていきたい。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得

①個々の知識を教科横断的に結び付け、体系的に捉える力
②文章や言葉の意味と使い方を正しく理解する力
③学習した技能を、家庭や日常生活で使用し定着させる力

思考力・判断力・表現力等の育成

④文章や他者の発言から、その要旨や意図を読み取る力
⑤目的に合わせて適切な表現を判断し、文章にする力
⑥自分の考えを、理由や根拠をもとに筋道立てて説明する力

学びに向かう力・人間性等の涵養

⑦自分の意見を積極的に伝え、粘り強く学習に取り組む力
⑧学習内容を更に探求したり、見通しをもって主体的に行動する力
⑨自分に合った目標を立て、見通しをもって学習に向かう力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得

・他教科との関連を考えたり、現代の諸課題について多面的・多角的に考察したりするとともに、意見交流をする活動を通して、多様な知識を身に付けられるようにする。
・新しく学習した知識や言葉を用いて表現したことを伝え合う活動を行う。
・習熟度別授業や個別の課題設定等で基礎的知識を定着させ、学力の底上げを図る。

思考力・判断力・表現力等の育成

・自分の考えを表現するとともに相手の意見や文章表現からその意図や伝えたいことを読み取る活動を取り入れる。
・自分が伝えたいことや、達成する目的に合わせて自分の考えや文章を推敲したり適切な表現に変えたりする活動を行う。
・学習資料や実験結果等から、事象の要因を考察し、理由や根拠とともに表現する活動を行う。

学びに向かう力・人間性等の涵養

・ペアやグループになり、積極的に考えを伝え合い、そのために必要なスキルを身に付けさせる活動を行う。
・学習内容と自分の生活を結び付け、主題や題材に込められたねらいや思いを読み取り、よりよい活動を目指す取組を行う。
・学習内容をもとに、現代の諸課題と関連付けることによって、持続可能な社会を実現させる力が身に付くようにする。

本校の特色ある取組

・生徒による校則「石南 LIFE」の施行　・石南学習会の実施
・年間５回のイベントテストの実施
・教科ルームの充実　・習熟度別指導等の実施
・実力テストの実施　・学力向上推進委員会の設置
・学習時間を確保した教育課程の実施　・磨心清掃の実施

家庭教育との連携

・フッ化物洗口の実施
・自学ノートの活用
・「学びのススメ」の活用
・「ISNINAN 進学フェア」の実施

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①個々の知識を教科横断的に結び付け、体系的に捉える力 ②文章や言葉の意味と使い方を正しく理解する力 ③学習した技能を、家庭や日常生活で使用し定着させる力	④文章や他者の発言から、その要旨や意図を読み取る力 ⑤目的にあわせて適切な表現を判断し、文章にする力 ⑥自分の考えを、理由や根拠をもとに筋道立てて説明する力	⑦自分の意見を積極的に伝え、粘り強く学習に取り組む力 ⑧学習内容を更に探求したり、見通しをもって主体的に行動する力 ⑨自分にあった目標を立て、見通しをもって学習に向かう力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	②、 ④、⑤、⑥	②毎授業初めに言語事項の学習をする時間を設定し、その解説を丁寧に行う取組。 ④⑤⑥日頃の授業において、相手意識をもって自分の意見をわかりやすく表現する活動を取り入れるとともに、相手の意見や文章表現からその意図や伝えたいことを読み取る活動を行う取組。	
社会	③、⑥	③資料を活用し、課題を見出し、公正な視点で解決策を考える取組。 ⑥背景を明らかにし、自分の言葉で説明する取組。	
数学	⑥、⑦	⑥問題解決時、解法の理由や根拠を明確に発表する取組。 ⑥2 年生は習熟度別学習の取組。 ⑦グループ学習で、解き方や考え方を伝え合い、１人で解けない問題も、それらを手掛かりに粘り強く課題解決に向かう取組。	
理科	①、⑥	①計算問題を中心に反復練習を行い、苦手意識を無くしながら基礎事項の定着を確実にする取組。 ⑥話し合いで他者の意見を参考にしながら、レポートの優秀事例を参考にし、論理だてて考察する力を養う取組。	
外国語	②、⑦、⑨	②新出語句と言語材料の特徴や意味を理解させ、「聞く」「読む」「話す」「書く」の四技能をバランスよく伸ばす取組。 ⑦Quick Input で基本文を定着させ、それを用いて積極的に自分の考えや気持ちを伝え合うために必要な技術を習得し、活用しようとする取組。 ⑨定期的に単語テストやパフォーマンステストを実施し、それに向けて目標を持って学習させる取組。	
音楽	②、⑧	②自分の言葉で表現する力をつけるために、音楽記号や強弱記号を理解し楽譜を見て、それらを用いて批評し、伝え合う技能の取組。 ⑧自分の組み取った音楽を言葉や技能を生かして表現するための取組。	
美術	①、⑧	①これまでの経験から発想・構想し、主体的に作品主題を考える取組。 ⑧主題に合わせて表現方法を工夫し、よりよい作品にするために探求していく取組。	
技術	①、③	①理科、社会科の指導計画に合わせ、多角的な学びを進める取組。（電気エネルギー、環境負荷、食糧問題等） ③夏野菜の栽培、食材としての利用に係る取組。	
家庭	⑤、⑧	⑤生活の場面に合わせた言動を経験から考え、伝え合う取組。 ⑧体験を通して、自分の生活や社会の課題を見出し、生活を工夫しようとする取組。	
保健体育	③、⑥、⑨	③知識や運動経験を元に、自己の健康や運動習慣に結び付ける取組。 ⑥学習した内容を活用し、ペアやグループ学習を通して考えを伝え合うことや振り返りを言葉や文章で表現する取組。 ⑨自己の目標や課題に応じた練習方法を選択し、目標達成に向かう取組。	
特別の教科　道徳	⑤、⑧、⑨	⑤友人関係の中で自身の感情を適切に表現できるようにする取組。 ⑧題材を日常生活に置き換え、今後の生活との関連を考えさせる取組。 ⑨これからどのように他者と関わり、自身の人生を歩んでいくのかを様々な視点から考えさせる取組。	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

（２）教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
・磨心（まごころ）清掃の実施	・非認知能力の育成を目指し、生徒が自ら清掃に集中して取り組む清掃活動を実施している。責任感を醸成するため清掃長を各分担場所に設け、生徒会本部と連携し主体的な取組を実施している。
・石南学習会の実施	・定期テスト前の放課後に、クラスでは自習、特別教室では先生に質問したり、生徒が互いに教え合ったりできる場を設けている。
・生徒による校則 石南 LIFE の施行	・生徒によって校則を設定し、生徒総会で改訂していくことによって、生徒の非認知能力の向上を図っている。
・年間5回のイベントテストの実施	・英単語や漢字など、5教科で全学年共通のテストを実施している。練習の時間を設け、努力すれば満点を取ることができる環境を整えることで、達成感を味わわせて学習意欲の向上を図っている。
・教科ルームの充実	・国語・数学・英語・社会において、教科ルームを設置し、それぞれの教科に特化した教室づくりを行っている。授業環境を充実させることで集中力を高め、学習活動の活性化を図っている。
・習熟度別指導等の実施	・国語・数学・理科・社会において、TT・習熟度別指導等を実施し、基礎的・基本的な学力の育成と共に応用力の育成にも取り組み始めている。
・実力テストの実施	・1・2年生において、年に2回の実力テストを実施し、個人の伸びに着目すると共に、分析結果を基にして授業改善に取組んでいる。
・学力向上推進委員会の設置	・学力向上推進委員会を設置し、学力向上に向けて共通理解・情報共有を行うとともに、学校で行っている取組の工夫改善を行っている。
・学習時間を確保した教育課程	・定期テストを２日間で計画することで、学習に向き合う時間の確保と学習の質の向上を図っている。
家庭教育との連携	
・フッ化物洗口の実施	・健康管理の面からも学習を支えていただくため、むし歯の治癒率を高める働きかけとともに、むし歯の予防についても学校から発信し、意識を高める取組を行っている。
・自学ノートの活用	・家庭学習の取組を定着させるために自主学習ノートを配布し、毎日の課題を行う取組を行っている。また、より効果的な取組をしているノートを紹介し、よりよい学習の進め方を身に付けられるようにしている。
・「学びのススメ」の活用	・各教科を学ぶ価値や学習の進め方をまとめた学習シラバス「学びのススメ」を生徒とともに保護者会の資料として活用することで学習の取組の共有化を図っている。
・ISNINAN 進学フェアの実施	・上級学校の先生に来校してもらい、全校生徒と保護者が自由に話しを聞ける機会を設けることで、生徒と保護者両方の進路選択に向けた意識向上を図っている。